

2021年度活動概要

授業学(関西)研究会

年に3回の例会を開催した。今年度はZoomでの開催。2018年からEP理論とQOLについて研究している。学習者中心・質保証を主に扱う。

4/18には名古屋学院大学の工藤泰三が日本におけるCLILの課題を発表した。飯田が新代表として講演を行った。6/19の研究会では、コロナ禍の授業について検討し、30名ほどが参加した。1月には関東・関西・中部の3支部合同で全国大会を開催し、90名ほどの参加があった。8/27のJACET60周年記念ウイーク国際大会 JACET Hours SIGポスター発表を行った。(村上裕美、加藤 譲、檜本洋子、デイビス恵美、星野光江)。2/13の研究会では10名ほどが参加し、コロナ禍で授業をどう進めていくか、来年度のテーマについて話し合った。3/17第9回英語教育セミナーにおいて村上裕美・デイビス恵美がSIG発表を行った。

3/19の第3回関西支部講演会で代表の飯田毅が授業学関西研究会を代表して講演を行った。70名を超える参加者で盛会となった。